

佐賀大学で 学ぼう



公開講座2008受講生募集



佐賀大学



CONTENTS

	p 1	目次
	p 2	お申し込み方法
語学	p 3	TOEIC® テスト講座 -目標は600点-
	p 4	原書で読む物語 -英米の小説・ファンタジー-
	p 4	ドイツ語講座
教養文化	p 5	知の復権をめざしてVI -「旅」の文化学-
	p 5	「佐賀」学のスヌメ -近世から近代の佐賀-
生活環境	p 6	小さな生き物の多様な世界
	p 6	自分でためそう、環境負荷の実態
	p 7	エネルギー資源の現状と今後
	p 7	おいしくてヘルシーなハムとソーセージ作り
医療健康	p 8	病気と健康
	p 8	高齢者のための健康と医療(仮称)
地域課題	p 9	みんなの大学-地域の現状と課題について-
	p 10	佐賀大学出前講座in鳥栖
	p 10	スローライフが地域を動かす(仮称)

お申し込み方法

- 1 はがき、お電話、メール等にて、「お名前」、「ご住所」、「ご連絡先」、「受講希望講座名」をお知らせください。
- 2 受け付け後、受講料をお支払い願います。受講料は、現金書留で送付していただくか、佐賀大学経理調達課収入窓口にご持参ください。また、講座開講日初日にお支払いいただいても結構です。

なお、お申込み後、お支払いいただいた受講料は、受講をキャンセルされても返還することが出来ませんので、ご注意願います。

[お申込み・お問合せ先]

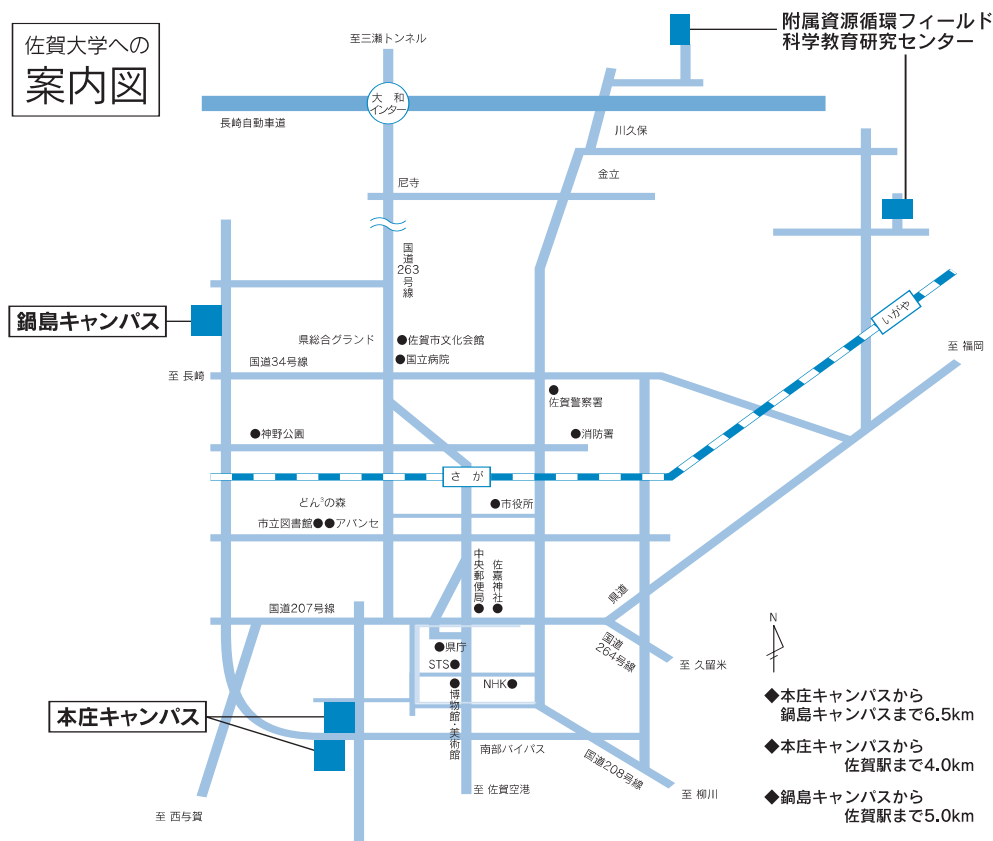
国立大学法人佐賀大学総務部総務課

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 TEL 0952-28-8113 FAX 0952-28-8118

E-mail soumux3@mail.admin.saga-u.ac.jp

公開講座の情報は、

ホームページ <http://www.saga-u.ac.jp/somu/koukai.htm> をご覧ください。



各講座のご案内



TOEIC® テスト講座 ー目標は600点ー

日時 5月13日(火)～7月29日(火) 毎週火曜日 18:30～20:00

時間数 18時間

対象 市民一般(高校生以上)・佐賀大学学生

定員 25名

場所 佐賀大学教養教育運営機構2号館LM2教室(本庄キャンパス)

受講料 4,000円※別にテキスト代(2,000円程度)が必要です。

内容

最近、英語のコミュニケーション能力の診断のためにTOEIC® テストが広く用いられるようになりましたが、社会人の皆さんが総合的な英語力を増強できる場はあまりありません。また、学生も、独力で受験のための勉強をするのは、なかなか大変です。この講座は、600点をめざして、リスニング、リーディング、文法・語彙の基礎力を養成することを目的としています。

講義

第1回	5月13日(火)	リスニング(1)	第9回	7月8日(火)	文法・語彙(1)
第2回	5月20日(火)	リスニング(2)	第10回	7月15日(火)	文法・語彙(2)
第3回	5月27日(火)	リスニング(3)	第11回	7月22日(火)	文法・語彙(3)
第4回	6月3日(火)	リスニング(4)	第12回	7月29日(火)	文法・語彙(4)
第5回	6月10日(火)	リーディング(1)			
第6回	6月17日(火)	リーディング(2)			
第7回	6月24日(火)	リーディング(3)			
第8回	7月1日(火)	リーディング(4)			

講師

本学教員 小野浩司(リスニング)、名本達也(リーディング)、熊本千明(文法・語彙)



原書で読む物語 —英米の小説・ファンタジー—

日時 9月4日(木)～11月20日(木) 毎週木曜日 18:30～20:00 時間数 18時間
 対象 市民一般(高校生以上)・佐賀大学学生 定員 15名
 場所 佐賀大学教養教育運営機構2号館241番教室(本庄キャンパス) 受講料 4,000円

内容 英米の小説・ファンタジーを原書で読んでみませんか。楽しみながら英語の読解力を身につけることができ、豊かな世界が広がります。講師それぞれがお薦めの物語を、その背景とともにご紹介します。ひとつの物語を2～4回に分けて、ゆっくり読み進みますので、本格的に文学を味わいたい方も、久しぶりに英語の文章にふれたい方も、お気軽にご参加下さい。

講義

第1回 9月 4日(木) ファンタジー	第9回 10月30日(木) 小説(アメリカ)
第2回 9月11日(木) ファンタジー	第10回 11月 6日(木) 小説(アメリカ)
第3回 9月18日(木) 小説(イギリス)	第11回 11月13日(木) 童話
第4回 9月25日(木) 小説(イギリス)	第12回 11月20日(木) 童話
第5回 10月 2日(木) 小説(イギリス)	
第6回 10月 9日(木) 小説(イギリス)	
第7回 10月16日(木) 小説(アメリカ)	
第8回 10月23日(木) 小説(アメリカ)	

講師 本学教員 名本達也(ファンタジー)、山中利夫(小説)、鈴木繁(小説)、熊本千明(童話)



ドイツ語講座

日時 10月～12月 時間数 24時間
 対象 市民一般(学生・高校生を含む) 定員 20名
 場所 佐賀大学教養教育運営機構2号館(本庄キャンパス) 受講料 4,500円

内容 初めてドイツ語を学ぶという人、また、継続的にドイツ語を学びたいという人を対象に開講するものです。毎回前半は初学者コースと経験者コースに別れて、後半は共同で行う予定です。ドイツ語自体の学習がメインですが、ドイツ語の学習を通して、ドイツにおける環境への取り組みや介護の問題などのドイツ事情、またドイツ映画や年中行事など広くドイツ文化を紹介し、難しいというイメージがあるドイツ語を楽しく学ぶことを目指します。

講義

詳細の内容は、決定次第、本学ホームページに掲載しますので、ご覧ください。
 (<http://www.saga-u.ac.jp/somu/koukai.htm>)

講師 本学教員 吉中幸平、本学ドイツ語非常勤講師 重竹芳江



知の復権をめざしてVI -「旅」の文化学-

日時 下欄参照※2つの時期に分かれますのでくれぐれもご注意ください。 **時間数** 20時間
対象 市民一般 **定員** 無制限
場所 佐賀大学文化教育学部棟2号館2階「社会科演習室」(本庄キャンパス) 予定 **受講料** 無料

内容	本講座は、「旅」を統一テーマに掲げたうえで、担当講師陣が、文学、美学、音楽学、エジプト学、国際政治学、倫理学、歴史学、法学など、おのおのの専門分野から多角的複眼的に考えます。レジャー目的の観光旅行もあれば、住み慣れた土地を逐われ、或いは、苦難から逃れるため、命からがら逃避行する場合もあるでしょう。目的地を定めぬ漂泊放浪の徒行もあれば、聖地をめざす巡礼の道行きもあるでしょう。さらに人生そのものも一つの「旅」です。さまざまな「旅」について、皆さんと「文化学する」講座です。																																
	講義	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">前期(前半)</td> <td>5月22日(木)</td> <td>吉岡剛彦(法哲学)</td> <td>日本の「難民」政策を考える</td> </tr> <tr> <td>5月29日(木)</td> <td>高橋良輔(国際政治学)</td> <td>「旅」から「移動」へ：現代の移民・難民が問いかけるもの</td> </tr> <tr> <td>6月 5日(木)</td> <td>相野 毅(フランス文学)</td> <td>ジュディット・ゴーチエの日本</td> </tr> <tr> <td>6月12日(木)</td> <td>木原 誠(アイルランド文学)</td> <td>無縁(アジール)が結ぶ不可思議なく縁>、縁切り巡礼の記憶： 一つの迷宮/子宮(マトリックス)、東慶寺のなかのく無縁墓地>の謎を巡って</td> </tr> <tr> <td>6月17日(木)</td> <td>高野 茂(音楽学)</td> <td>音楽と脳科学</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">後期(後半)</td> <td>10月23日(木)</td> <td>後藤正英(倫理学)</td> <td>ディアスポラ(離散)のユダヤ人</td> </tr> <tr> <td>10月30日(木)</td> <td>田村栄子先生 [外部講師：ドイツ現代史]</td> <td>ユダヤ人にとっての「旅」とドイツ 一強いられた「移動」・虐殺と望んだ「旅」・定住一</td> </tr> <tr> <td>11月 6日(木)</td> <td>塚本明廣(エジプト学)</td> <td>古代エジプト人の出張報告</td> </tr> <tr> <td>11月13日(木)</td> <td>未定[外部講師]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11月20日(木)</td> <td>相澤照明(美学)</td> <td>ピクチャレスク・トラヴェルとは何か 一風景美鑑賞旅行の先駆けとしてのギルピニー</td> </tr> </table>	前期(前半)	5月22日(木)	吉岡剛彦(法哲学)	日本の「難民」政策を考える	5月29日(木)	高橋良輔(国際政治学)	「旅」から「移動」へ：現代の移民・難民が問いかけるもの	6月 5日(木)	相野 毅(フランス文学)	ジュディット・ゴーチエの日本	6月12日(木)	木原 誠(アイルランド文学)	無縁(アジール)が結ぶ不可思議なく縁>、縁切り巡礼の記憶： 一つの迷宮/子宮(マトリックス)、東慶寺のなかのく無縁墓地>の謎を巡って	6月17日(木)	高野 茂(音楽学)	音楽と脳科学	後期(後半)	10月23日(木)	後藤正英(倫理学)	ディアスポラ(離散)のユダヤ人	10月30日(木)	田村栄子先生 [外部講師：ドイツ現代史]	ユダヤ人にとっての「旅」とドイツ 一強いられた「移動」・虐殺と望んだ「旅」・定住一	11月 6日(木)	塚本明廣(エジプト学)	古代エジプト人の出張報告	11月13日(木)	未定[外部講師]		11月20日(木)	相澤照明(美学)
前期(前半)	5月22日(木)	吉岡剛彦(法哲学)		日本の「難民」政策を考える																													
	5月29日(木)	高橋良輔(国際政治学)		「旅」から「移動」へ：現代の移民・難民が問いかけるもの																													
	6月 5日(木)	相野 毅(フランス文学)		ジュディット・ゴーチエの日本																													
	6月12日(木)	木原 誠(アイルランド文学)		無縁(アジール)が結ぶ不可思議なく縁>、縁切り巡礼の記憶： 一つの迷宮/子宮(マトリックス)、東慶寺のなかのく無縁墓地>の謎を巡って																													
	6月17日(木)	高野 茂(音楽学)	音楽と脳科学																														
後期(後半)	10月23日(木)	後藤正英(倫理学)	ディアスポラ(離散)のユダヤ人																														
	10月30日(木)	田村栄子先生 [外部講師：ドイツ現代史]	ユダヤ人にとっての「旅」とドイツ 一強いられた「移動」・虐殺と望んだ「旅」・定住一																														
	11月 6日(木)	塚本明廣(エジプト学)	古代エジプト人の出張報告																														
	11月13日(木)	未定[外部講師]																															
	11月20日(木)	相澤照明(美学)	ピクチャレスク・トラヴェルとは何か 一風景美鑑賞旅行の先駆けとしてのギルピニー																														
講師	本学教員 相澤照明、相野 毅、高野 茂、塚本明廣、木原 誠、吉岡剛彦、後藤正英、高橋良輔 外 学外講師																																



「佐賀」学のススめ -近世から近代の佐賀-

日時 12月20日(土) / 2009年1月17日(土) / 2009年2月21日(土) **時間数** 6時間
対象 市民一般 **定員** 無制限
場所 佐賀城本丸歴史館 **受講料** 無料

内容	佐賀には豊かな歴史文化遺産があり、先人たちのすぐれた足跡が残されています。「佐賀」学とは、佐賀の固有性と普遍性を追求する学問であり、本講座では、近世(江戸時代)から近代にかけての佐賀の地域特性と歴史的魅力をさぐります。とくに、江戸時代の佐賀は、全国でも数少ない地方知行制による支配が継続し、独自の藩政が展開し、特徴ある文化がはぐくまれました。幕末には、積極的に西洋文化・科学技術を導入し、維新时期雄藩の一つとして、明治以降の我が国の近代化に大きな役割をはたしました。佐賀がなぜ、江戸時代から近代にかけて雄飛できたのかをさぐり、「佐賀」の魅力を再発見します。									
	講義	<table border="1"> <tr> <td>第 1 回</td> <td>12月20日(土)</td> <td>近世佐賀の地域性と文化</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>2009年1月17日(土)</td> <td>幕末の鍋島閑叟</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>2009年2月21日(土)</td> <td>近世佐賀の教育</td> </tr> </table>	第 1 回	12月20日(土)	近世佐賀の地域性と文化	第 2 回	2009年1月17日(土)	幕末の鍋島閑叟	第 3 回	2009年2月21日(土)
第 1 回	12月20日(土)	近世佐賀の地域性と文化								
第 2 回	2009年1月17日(土)	幕末の鍋島閑叟								
第 3 回	2009年2月21日(土)	近世佐賀の教育								
講師	本学教員 青木歳幸、生馬寛信、本学名誉教授 杉谷 昭									
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●2009年度 第4回近世の佐賀藩(伊藤昭弘)、第5回近世佐賀の医学(青木歳幸)、第6回幕末佐賀の科学技術(長野暹) ●2010年度 第7回近代佐賀の農民(鬼嶋淳)、第8回近代佐賀の産業人(山本長次)、第9回未定(講師・演題はすべて予定) お問い合わせは、地域学歴史文化研究センターまで TEL/FAX 0952-28-8378									



小さな生き物の多様な世界

日時 7月19日(土) 10:00~16:10 / 7月26日(土) 10:40~16:10 時間数 10.5時間
 対象 市民一般 定員 20名
 場所 佐賀大学農学部5番講義室(本庄キャンパス) 受講料 無料

内容 地球規模で生態系が論じられることも日常化する中、身の回りの生態系の一員である目につきにくい小さな生物たちの実態や、私達の生活の中で彼らがどのように重要かについては、意外と知られていません。そこで、今回、「小さな生き物の多様な世界」と題する公開講座を立ち上げて、皆さんにそのような生物たちのことについてお話ししたいと思います。受講者には、市民生活の中で身近にいながら普段目につかない生物の面白さと重要性について理解を深めてもらうとともに、佐賀大学農学部の中でそのような生物に関わる研究がどのように進められているのかについて知ってもらえることを目的と考えています。

講義	7月19日(土)	10:00	30分	野間口眞太郎 開講趣旨説明「小さな生き物の多様な世界」
		10:40	90分	大島一里「植物もインフルエンザやエイズにかかるの?ミクロな病原体ウイルス」
		12:10~13:00		昼休み
		13:00	90分	草場基章「身近な微生物ーカビのはなし」
		14:40	90分	近藤榮造「線虫の冒険:海から陸へ」
講義	7月26日(土)	10:40	90分	吉賀豊司「昆虫と関わりをもつ線虫」
		12:10~13:00		昼休み
		13:00	90分	早川洋一「昆虫のストレスと死ー昆虫はタフな生物か?」
		14:40	90分	鈴木信彦「アリと共に生きる生き物たち」

講師 本学教員 大島一里、草場基章、近藤 榮造、鈴木 信彦、野間口眞太郎、早川 洋一、吉賀 豊司



自分でためそう、環境負荷の実態

日時 9月13日(土) / 9月14日(日) 時間数 14時間
 対象 市民一般 定員 30名
 場所 佐賀大学理工学部9号館609セミナー室および8号館307実験室(本庄キャンパス) 受講料 3,500円

内容 社会人の環境に関する認識を深めかつ積極的に環境保全活動にかかわるボランティアの育成に資するため、本講座では環境に関する多方面の知識を提供するとともに、いくつかの環境基準項目に関する測定を体験してもらい、一般人でも簡単に測定ができることを認識していただく。これらの体験を通して環境問題をより身近なものと感じてもらう。

講義 環境に関する基調講演を佐賀大学教授田端正明が行なう。佐賀県環境科学協会からは、環境と産業というタイトルで環境関連産業の発達に関して説明をうける。環境フォーラムからは、環境ボランティアの活動状況に関する報告を行なう。また、佐賀市職員には、農水省関連の農村部を対象とする環境保全活動と今後の展開に関して話してもらう。また、文系教官には社会活動という観点から環境保全活動の情勢を話してもらう。

13日15時からは実験室に移動後、5~4項目(pH、COD、全リン、全窒素、残留農薬、Fe、硬度など)の測定に関する説明をする。使用するバックパックテスト器具を用いて例示実験も行なう。この後、参加者の測定希望項目により数グループにわける。

14日は、参加者に2セットのバックパックテスト器具を配布し、測定現場に赴き、測定を実施する。各グループには機能物質化学科教員1名、アルバイト学生1名を配置しトラブル時の指導に当たらせる。1セットは測定を体験してもらうが、もう1セットは自宅に持ち帰り使用していただく。午後3時までに大学にもどり、各班での測定結果をもとに佐賀の環境の実情に関して討論する。(理工学部9号館609セミナー室)

講師 本学教員 田端正明 他4名



エネルギー資源の現状と今後

日時 11月6日(木)／11月13日(木) 19:00～21:00 時間数 4時間
 対象 市民一般 定員 15名
 場所 佐賀大学文化教育学部3号館1階理科家庭科講義室(本庄キャンパス) 受講料 無料

内容	<p>今冬(2007年末時点)も灯油の盗難のニュースなど、石油の値上がりに関して耳にする機会が増えている。その背後に何があるのか、テレビで語られる解説は「視聴者受けする話」に偏るきらいがあるようです。</p> <p>そこで本講座では短期的な出来事と長期的な要因をしっかりと区別しながら、より重要性の高い長期的要因に重点を置いて説明します。また、「エネルギーのリサイクル」などの表現を時々聞きますが、エネルギー資源の本質を誤解したことによって生み出された言葉であり、このような誤解を避けるための基礎知識も、併せて提供したいと思います。</p> <p>その上で、原子力に対する評価や、太陽光、風力、バイオマスの可能性など、これからのエネルギー供給に関して検討する予定です。</p>
講義	<p>1.はじめに 最初にエネルギー資源の状況を概説します。人類が必要とするエネルギー量や、食糧として必要とするエネルギー量など。</p> <p>2.歴史の変遷 過去の歴史に沿ってエネルギー利用の変遷を辿ります。人類がこれまで如何にしてエネルギー問題に対処してきたのかなど。</p> <p>3.将来のエネルギー需給 将来的にエネルギー需給はどのように予測されるのか、また石油の枯渇は昔から40年で変わらないと言うけれど、本当のところはどうなのかなど。</p> <p>以上の内容を2回に分けて話します。区切り良く2回に分かれないことが予想されるのですが、終了時刻を大きく超えないように打ち切ります。逆に早く終わることについては有料講座でないため良しとします。途中疑問点などがあればその場で質問していただくようお願いいたします。</p>
講師	本学教員 中村 聡



おいしくてヘルシーなハムとソーセージ作り

日時 11月 13:00～17:00 時間数 8時間
 対象 市民一般 定員 20名
 場所 佐賀大学農学部附属資源循環フィールド科学教育研究センター 受講料 3,000円(実費負担有)

内容	<p>ハム、ソーセージなどの肉加工の工程、技術、知識を学ぶとともに現在注目されている食の大切さや安全性について考えましょう。</p>
講義	<p>第1回 肉の仕分け、角切り、塩漬け 第2回 練り合わせ、詰め込み、ソーセージ・ハムの製造</p>
講師	<p>本学教員 尾野喜孝、上埜喜八、駒井史訓、堀元栄枝 本学技術職員 田原 稔、青木高信、福嶋 浩、嘉村茂宏、森 太郎</p>
その他	<p>家族での参加も歓迎します(小学生以下は受講費無料、実費負担のみ)。 開催日や内容の詳細については、後日、本学ホームページに掲載します。</p>



病気と健康

日時 未定
 対象 市民一般
 場所 アバンセ・佐賀市文化会館 他

時間数 10時間
 定員 100名
 受講料 無料

内容

健康な長寿生活を送ることは国民一人ひとりにとっての切実な願いです。食料の十分な量的供給が確保され、様々な生活用品の開発による便利な生活がもたらされたにもかかわらず、人々の健康に対する不安は解消されていません。その一つの理由は、医学・医療の研究成果が、住民一人ひとりに実的な形で伝わっていないことにあると考えられます。本年度の公開講座では、幾つかの分野について、佐賀大学医学部でおこなわれている健康と病気に関する研究成果を、地域の方へわかりやすく伝え、健康な長寿生活のヒントを得てもらうことを目的としています。講座は、講演だけでなく、対話形式による質疑応答や検診も計画されています。

講義

詳細の内容は、決定次第、本学ホームページに掲載しますので、ご覧ください。
 (<http://www.saga-u.ac.jp/somu/koukai.htm>)

講師



高齢者のための健康と医療（仮称）

日時 9月～2009年1月
 対象 市民一般
 場所 アバンセ

時間数 7.5時間
 定員 100名
 受講料 無料(資料代として500円)

内容

講義

90分講義(質疑応答30分)×5回を予定
 詳細の内容は、決定次第、本学ホームページに掲載しますので、ご覧ください。
 (<http://www.saga-u.ac.jp/somu/koukai.htm>)

講師

本学医学部教員、看護師

その他

佐賀県立女性センター・佐賀県立生涯学習センター(愛称:アバンセ)との共催公開講座



みんなの大学 —地域の現状と課題について—

日時 5月13日(火)～12月2日(火) 10:30～12:00 ※実地研修は終日 時間数 30時間
 対象 市民一般 定員 40名
 場所 佐賀大学附属図書館4階AV会議室(本庄キャンパス) 受講料 5,000円 ※実地研修には別途参加費が必要

内容

「大学のレベル＝地域のレベル」、「大学像を地域と共につくる」という言葉をモットーに佐賀大学の教員や地域で活躍されている方々などを講師に、20回の連続講座(前期・5月～7月に10回、後期・9月～12月に10回)を実施。そのうち、スクールバスによる実地研修を前期と後期に1回ずつ開催する。

佐賀大学が持つ多様な研究分野を広く受講していただくとともに、大学の施設(特に附属図書館)を活用してもらい、学習意欲の向上に役立つことを希望する。

講義

前期(前半)	第1回	5月13日(火)	「ヨーロッパ統合と地域主義—その歴史的考察—」
	第2回	5月20日(火)	
	第3回	5月27日(火)	「新聞記事に見る有明海・諫早湾」
	第4回	6月3日(火)	「映画と世相」
	第5回	6月10日(火)	「佐賀大学を卒業した中国人留学生のその後と活躍(文化・教育・経済)」
	第6回	6月17日(火)	実地研修「日本茶栽培発祥の地を訪ねる～脊振山霊仙寺跡を中心に～」
	第7回	6月24日(火)	
	第8回	7月1日(火)	「工場の設立と撤退にみる佐賀地域の可能性と留意点」
	第9回	7月8日(火)	「韓国経済と産業構造の変化」
	第10回	7月15日(火)	「韓国の文化と資本主義精神」
後期(後半)	第11回	9月30日(火)	
	第12回	10月7日(火)	
	第13回	10月14日(火)	
	第14回	10月21日(火)	
	第15回	10月28日(火)	内容・講師については、未定です。
	第16回	11月4日(火)	決定次第、受講生にお知らせします。
	第17回	11月11日(火)	
	第18回	11月18日(火)	
	第19回	11月25日(火)	
	第20回	12月2日(火)	

講師

前期(前半)	第1回		
	第2回	経済学部教授	古賀和文
	第3回	経済学部教授	樫澤秀木
	第4回	元佐賀新聞社カメラマン	川浪廣満
	第5回	佐賀県日中友好協会事務局長	鳥井大敬
	第6回	吉野ヶ里町地域まちおこしグループ・さざんか塾塾長	多良正裕
	第7回		
	第8回	経済学部准教授	山本長次
	第9回		
	第10回	経済学部客員教授	金玉岩

その他

前期の講義概要をまとめたチラシがあります。必要な方は、地域経済研究センターへご連絡下さい。
 後期内容は、決定次第、受講生にお知らせします。なお、後期からの応募はありません。
 お問い合わせは、経済学部地域経済研究センター(池田)まで TEL 0952-28-8474 FAX 0952-28-8454



佐賀大学出前講座in鳥栖

日時 11月7日(金)～11月28日(金) 毎週金曜日 10:00～11:30

時間数 6時間

対象 市民一般

定員 20名

場所 サンメッセ鳥栖(鳥栖市)

受講料 無料 ※実地研修には参加費が必要

内容

佐賀大学のサテライトがあるサンメッセ鳥栖を会場に、佐賀大学経済学部の教員や地域で活躍されている方々を講師に4回の講義を実施。なお、最終回はスクールバスによる実地研修(9:00～16:00)を予定。経済学部の多様な研究分野を広く受講していただき、佐賀大学が身近な存在になることを希望する。本講座は平成18年度より実施しており、本年度で3年目を迎える。

講義

10月頃に鳥栖市報および公共施設などに置かれるチラシで講義内容・講師を案内予定。
第1回 11月7日(金) 講義
第2回 11月14日(金) 講義
第3回 11月21日(金) 講義
第4回 11月28日(金) 実地研修

講師

経済学部の教員(3回)、地域で活躍されている方(1回)を予定

その他

お問合せは、経済学部地域経済研究センター(池田)まで TEL 0952-28-8474 FAX 0952-28-8454



スローライフが地域を動かす(仮称)

日時 11月

時間数 10時間

対象 市民一般、自治体職員等

定員 100名

場所 小城市

受講料 3,000円

内容

講義

詳細の内容は、決定次第、本学ホームページに掲載しますので、ご覧ください。
(<http://www.saga-u.ac.jp/somu/koukai.htm>)

講師

その他

小城市との共催公開講座

2008 佐賀大学公開講座 一覧

分野	講座名	開催期間	開催場所
語学	TOEIC® テスト 講座 -目標は600点-	5月13日～ 7月29日	佐賀大学 教養教育運営機構2号館
	原書で読む物語 -英米の小説・ファンタジー-	9月 4日～ 11月20日	佐賀大学 教養教育運営機構2号館
	ドイツ語講座	10月 ～ 12月	佐賀大学 教養教育運営機構2号館
教養文化	知の復権をめざしてVI -「旅」の文化学-	5月22日～ 11月20日	佐賀大学 文化教育学部
	「佐賀」学のスヌメ -近世から近代の佐賀-	12月20日 2009年1月17日 2009年2月21日	佐賀城本丸歴史館
生活環境	小さな生き物の多様な世界	7月19日 7月26日	佐賀大学 農学部
	自分でためそう、環境負荷の実態	9月13日 9月14日	佐賀大学 理工学部
	エネルギー資源の現状と今後	11月 6日 11月13日	佐賀大学 文化教育学部
	おいしくてヘルシーなハムとソーセージ作り	11月	佐賀大学 農学部附属資源循環フィールド 科学教育研究センター
医療健康	病気と健康	未定	アバンセ・佐賀市文化会館 他
	高齢者のための健康と医療(仮称)	9月 ～ 2009年1月	アバンセ
地域課題	みんなの大学 -地域の現状と課題について-	5月13日～ 12月 2日	佐賀大学 附属図書館
	佐賀大学出前講座in鳥栖	11月 7日～ 11月28日	サンメッセ鳥栖
	スローライフが地域を動かす(仮称)	11月	小城市